

本学では、医療従事者をはじめ多くの職員の協力を得て、新型コロナワクチンの大学拠点（職域）接種を7月6日に開始し、8月27日に終了しました。本学学生・教職員の接種希望者に加え、職域接種を実施しない近隣の大学関係者なども対象としました。本学が地域一般より早く接種を開始でき、皆さんがワクチン接種に関する正しい知識に基づいて判断した結果、学生全体の接種率は、自治体等での接種希望も含めると88%に達する見込みです。これは、私たち自身と共に社会を守るための寄与でもあり、一日も早いコロナ禍収束への一助となることを願っています。

石川県では、第4波が収束したとみられる6月26日には新規感染者はゼロになり、感染者の累計では、6月末日までは4千人未満（3,931人）でした。しかし、その後急激に感染が拡大し、7月28日には1日としては過去最多の119人の新規感染者が確認され、県はモニタリング指標を最も深刻な「ステージ4（感染拡大緊急事態）」に引き上げ、国に対するまん延防止措置の要請も決めました。7月の1か月間の感染者は1,174人でしたが、8月の1か月間では2倍近くの2千人を超えました（8月29日現在：2,080人／随時更新）。このような急激な感染拡大は、感染力の強い変異株「デルタ株」への置き換わりが進んだためとみられています。実際、県内のデルタ株の割合は、6月は1.3%でしたが、7月に40%に上昇し、8月には81.4%に達しています（※1：8月25日石川県公表）。

WHO（世界保健機関）によると、デルタ株は2020年10月に初めて報告され、2021年4月以降の爆発的な感染拡大の原因の1つとみられています。感染力が強く、従来の新型コロナウイルスのおよそ2倍、日本国内の感染拡大の第4波で広がったアルファ株の1.5倍程度とされています。

ここで、ワクチン接種後の「ブレークスルー感染」について詳しく書きます（※2：厚生労働省 Web より）。ウイルスや細菌に一度感染すると、身体の中にその病気に対する抵抗力（免疫）がついて、この記憶は身体の中に長く残ります。このため、麻疹や水痘など多くの感染症は「一度かかると二度とかからない」と言われています。しかし、インフルエンザなど、少しずつ性質を変化させる病原体による感染症は、ワクチンを接種した後も感染する可能性があり、これを「ブレークスルー感染」と呼びます。

麻疹や水痘では鼻や喉の粘膜からウイルスが侵入した後、扁桃や近くのリンパ節でウイルスが増え、ついで血液の流れに乗って全身にウイルスが広がってから、発熱や発疹などの症状が現れ発症します。つまりウイルスが体内に入り込んでから発症するまでの間に、10～20日間程度の潜伏期があります。既に感染していたり、ワクチンを接種したりして免疫ができていた人では、血液中の抗体がそこに入ってきたウイルスをブロックするので、発症しなくて済みます。一方、インフルエンザの場合、鼻や喉の粘膜に侵入したウイルスは、そこですぐに増殖を始め呼吸器粘膜を傷害して、数日で発症します。ワクチンを接種して血液中に抗体があっても、呼吸器粘膜の感染を防ぐことは難しく、発症を防ぐ機能も十分ではありません。しかし抗体は肺の中に滲み出てきて肺炎を起こさないようにブロックすることで、重症化を防ぎます。新型コロナウイルスもインフルエンザウイルスと同じように、鼻や喉の粘膜で増えて数日で発症します。さらに肺にまで感染が及ぶと重症化の恐れがあります。つまり、血液の中の抗体は鼻や喉の粘膜ではワクチンの効き目が弱く、感染を防ぐ効果は十分強くありませんが、肺では重症化を防ぐ効果を発揮するのです。

ワクチン接種を済ませた人のブレークスルー感染はデルタ株に置き換わった後で増えてきているものの、ワクチンによって重症化を防ぐ効果は高いレベルが保たれています。このことは、医療体制の逼迫を防ぎ、医療本来の機能の維持にもつながります。

このように、新型コロナウイルス感染症の感染予防や重症化抑制にはワクチンが効果的です。しかしながら、12歳未満の子供や、体質や基礎疾患のためにワクチンを接種できない方もいます。ワクチンを接種した人は、たとえ感染したとしてもほとんどの場合、重症化まで至りません。また、感染しても発症しないことが多いので、自分ではそれと気付かないまま他の人に感染を広げる恐れがあります。

ワクチン接種を2回済ませた人も、全ての人を守るために不要不急の移動は控え、これまで以上に、基本的な感染予防対策（マスク着用、手指消毒、密閉・密集・密接な環境の回避等）を徹底してください。

本学では皆さんの協力を得てワクチンの職域接種を終了できました。引き続き学生一人一人が感染予防対策を講じることにより、10月からの第3クォーターの対面授業を安全に再開し、以前のような日常の学生生活を取り戻すことができるものと期待します。改めて皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※1：<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kansen/variant.html>

※2：<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/column/0006.html>